



asian cultural council

## < 2022年度 ACC日本 Grantプログラム 申請書類作成ガイドライン > ニューヨーク・フェローシップ、個人フェローシップ、大学院スカラシップ

### 申請書

- \* 項目は、和・英併記（同内容）で枠内に記入ください。チェック項目は「X」を記入してください。
- \* 各項目の記入枠が足りない場合は、枠を拡大したり、コピーペーストして追加拡張してください。
- \* 申請書以外に提出する経歴書その他の提出資料も全て和・英併記（同内容）でご提出ください。
- \* 英語での語数制限がある項目について：明記された日本語での字数制限は参考として、それぞれ同内容であることを優先してください。
- \* 申請書内の顔写真は、JPGにて240 x 240 pixel, 72 dpi以内のデータを添付ください。
- \* 申請書は、**doc, docx, odt, rtf (rtfd)** のいずれかの文書ファイル形式で保存し、提出してください。

### 作品資料

ビジュアルアーティスト、パフォーマンスアーティスト、ビデオアーティスト、映画制作、音楽、文学、建築など、ご自身で作品を制作される分野の方は、ご自身の作品に関する資料をまとめて申請書と共に [application@accjpn.org](mailto:application@accjpn.org) 宛にメール添付にて提出いただくか、申請書内にダウンロードリンクを記入ください。

- メール添付で提出する場合：**1申請につき1メールの送信**とし、添付書類の数に関わらず、1メールの容量は**20MB以内**を遵守してください。
- ダウンロードリンクを提出する場合：データの総容量が**300MBを超えない**ようにしてください。

#### **(1) 画像、動画、音源データ \*必須**

- ・過去に制作した作品の**画像10点、動画3点、音源3点**まで提出いただけます。
- ・近作は必ず1点以上含むこと。ご自身の作家活動履歴が俯瞰できるような作品を選んでください。
- ・動画、音源について：再生時間が長い場合は、5分以内に編集したものを提出してください。
- ・ファイル形式 画像：**JPGが望ましい。容量は1画像3MB以下。**  
動画：**視聴リンク\*を記した書類ファイル(推奨), mp4, mov, mpeg**  
音源：**mp3, mp4, m4a, 視聴リンク\*を記した書類ファイル**

\*視聴リンクは2022年5月末まで有効とすること。パスワードが必要であれば明記ください。

#### **(2) 書類資料（文章や画像、およびそれらがレイアウトされたものなど）\*任意**

最大5ページまで。doc, docx, odt, rtf (rtfd)かpdfでの提出が望ましい。

例) ご自身の作品について書かれたレビューや参考となる掲載記事、文章での作品など。

#### **(3) 作品（資料）リスト \*必須**

提出する作品資料についての情報を一覧にして、一つのファイルにして提出してください。

作品リストは、ファイル名、作家名、作品タイトル、制作年、素材、作品サイズ（映像であれば長さ）制作クレジット（例：カメラ、編集、プロデューサー、監督名、演奏者など）を日英両方表記し、必要であれば、それぞれの作品の簡単な説明を日英表記でつけてください。

doc, docx, odt, rtf (rtfd)かpdfでの提出が望ましい。

\*キュレトリアル、アートアドミニストレーション、修復、考古学など、ご自身で作品を制作されない分野の方は、申請書内で提出する履歴書にご活動や出版履歴などを網羅していただき、作品資料をご提出いただく必要はありません。

## 推薦状

\* 申請者が選んだ2名の推薦者による推薦状の提出が必要です。推薦者は申請者の活動や今回の申請の目的／価値を客観的および専門的な視点をもって評価できる方とします。2名様とも日本在住が望ましいですが、2名の内、少なくとも1名は日本在住者とします。

\* 「II. 経歴と適性」の推薦状の項目に、推薦者2名の名前と所属／肩書き、Emailアドレスを記入ください。

\* これら2名の推薦者には、申請者からご連絡いただき、推薦者本人から直接 [application@accjpn.org](mailto:application@accjpn.org) に推薦状を提出していただけるようご依頼ください。この際、ACCへの申請内容を必ず推薦者にお伝えのうえ、推薦状フォームに申請者のお名前を記入いただいたものを推薦者に渡してください。

\* 推薦者は、記入された推薦状をACCにメールでご提出いただけます。推薦状を申請者が見ることはできません。

\* 推薦状は、**英語、日本語のうちどちらかひとつの言語**でお書きいただけるようご依頼ください。

\* 推薦状のご提出締切りは**2022年2月3日（木）**とさせていただきます。

\* ACCは、直接推薦者に対して推薦状提出の依頼や、届いていない場合の確認連絡はいたしません。

## 予算書 <個人フェローシップ及び団体助成申請者のみ提出>

ウェブサイトから予算書をダウンロードし、ACCに支援を申請したい予算の項目をわかる限り詳細に記してください。すべて米ドルに換算して記入してください。ACCで提供できる予算項目の一例は以下の助成金の使徒をご確認ください。

### <助成金の使途について>

各プログラムのガイドラインに特別の記載がない限り、すべてのフェローシップ、グラントプログラムにおいて、ACCは対象国／地域（複数可）への国際渡航を含んだ活動のみ支援対象といたします。

ACCの支援金の使途は、渡航と調査に関する費用に限ります。調査は創作や研究、専門分野における探求を含む、様々な活動を想定することができます。以下は使途の一部の例ですが、ご参考ください。

### 旅費および調査費の使途の例：

・ **旅費の使途**：国際航空券代、現地での交通費、ビザ申請に関する費用、旅行保険、宿泊費、渡航先における健康保険、生活費

・ **調査費の使途**：文化施設やイベントの入場料やチケット料金、ワークショップや研修クラスへの参加費、必要に応じた通訳費用\* \*有償の通訳を多数要するプロジェクトは、資金援助の対象にならない場合がほとんどです。

### 助成対象とならない費用：

- ・ 母国もしくは既に居住している国における研究・活動、国際渡航をとまなわな活動
- ・ コマーシャルデザイン、工業デザインを含む、商業活動に類するもの
- ・ 作品制作費（映画、ビデオ作品制作における撮影やそのための旅費を含む）
- ・ 展覧会や上映、上演、ライブのツアー費用
- ・ 出版経費
- ・ 芸術教育活動
- ・ 学費
- ・ 渡航開始期間（2022年6月1日～2023年12月31日）以外に実施される活動や事業
- ・ アーティストフィー（ギャランティ）
- ・ ACCの助成金を他への助成金として交付する活動

\* 申請者以外の方（家族やパートナーなど）が渡航滞在中の費用は助成対象ではありません。

\* 申請いただいた予算全額がそのまま助成金額になるとは限りません。目的とその活動内容によって改めてACCにて検討し、適切な金額が決定されますのでご了承ください。

### 申請書類一式の提出方法

\* すべての必要書類をEメール添付し、件名を「2022年度ACCグラント申請」として、[application@accjpn.org](mailto:application@accjpn.org)までお送りください。

1申請につき1メールの送信とし、添付書類の数に関わらず、1メールの容量は20MB以内を遵守してください。

**申請受付期間： 2022年1月13日(木) ～ 2月3日(木) (日本時間)**

\* 受付期間外の提出は無効となります。

\* 郵送、ファクス、持ち込みでの提出は受付けておりません。

### 審査／助成決定の時期

\* 助成は、2022年5月にニューヨークで開かれるACC理事会で最終的に決定し、結果の通知は、2022年6月、ACCニューヨーク本部よりメールにて送信されます。

\* ご不明なことがありましたら、ホームページの「[FAQ よくあるご質問](#)」をご確認ください。

それ以外の質問がある場合は、ACC日本オフィス [application@accjpn.org](mailto:application@accjpn.org)までEメールで問い合わせください。

なお、返答に数日かかる場合もございますので、ご了承ください。

\* 提出いただきます情報につきましては、ACCフェロースhip審査、および選考以外の目的には一切使用いたしません。